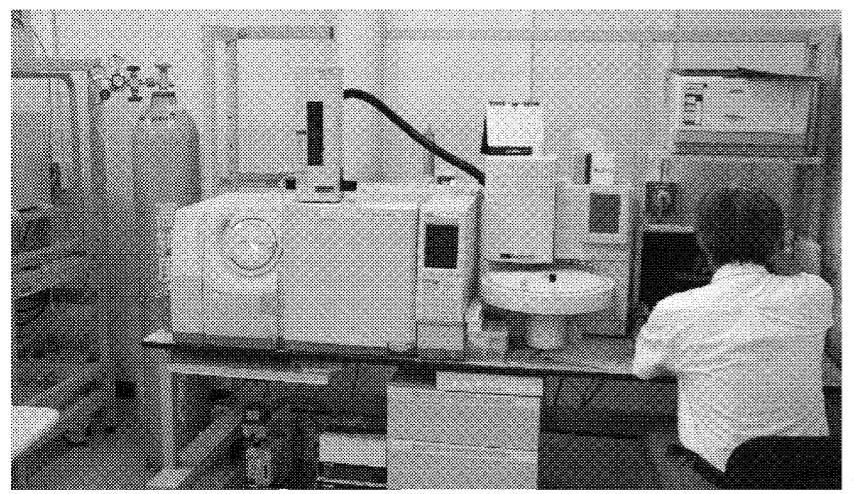


# 際だつ産業振興を推進する

## 佐賀県



最新機器で県内企業の開発をサポート

社会の高齢化や健康志向の高まりで、健康食品市場は大きくなり、食品成分を化粧品に利用するなど機能性食品分野への期待は高い。国内だけではなく成長著しいアジアに向けた戦略的な輸出分野としても有望だ。佐賀大

学本庄キャンパス(佐賀市)にある「徐福フロンティアラボ」は、機能性食品分野のニーズを取り込みたい企業にはうつつけの施設だ。同施設は佐賀県と佐賀大が共同運営する機能性健康食品の開発拠点で、11年に開設した。施設名は古代に中国から不老不死の薬を求めて日本に渡ったとされる徐福から採った。製品開発に向けて、県内企業からの成分分析装置のほか、固さや水分測定装置や「液体クロマトグラフ」や「液体質量分析計」など、機能性成分の特定や分析に用いる「生体分子相互作用解析装置」のほか、固さや水分測定装置などを測定する「物性測定装置」や「味認識装置」など、製品化段階の研究に応える機器など7種類

「マトグラフ質量分析計」や「液体クロマトグラフ」など、機能性成

分の測定や分析に用いる

「マトグラフ質量分析計」

など、機能性成

分の測定や分析に用いる

「マトグラフ質量分析計」